



つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和5年6月9日

第19号

江別市教育委員会

総務課・学校教育課

中学校登校の取組をフラッシュアップ！江陽中学校区

～バス通学体験・短学活・授業体験・小中合同授業～

5月17日（水）から19日（金）にかけて江別太小の6年生3クラスと特別支援学級のおおぞら学級、豊幌小の6年生1クラスが江陽中への中学校登校を実施しました。

子どもたちは朝から徒歩やスクールバスで江陽中に直接登校し、授業体験や合同授業、修学旅行発表会（総合的な学習の時間）への参加等を行いました。

初めに、仮担任の江陽中の先生から朝のホームルームの指導を受け、時間割や「3分前行動」等について教えてもらいました。数学科の授業体験では、「数の広がりについて考えよう」という課題で意欲的に問題解決に取り組みました。子どもたちは、最初、緊張していたようですが、中学校の先生の気持ちをほぐす問いかけ等によって次第に笑顔が見られるようになってきました。

1日目（17日）には、おおぞら学級の児童と中学生との体育科の合同授業もありました。「モルック」という「木の棒を投げて、数字が書かれた木の棒を倒して点を取っていくゲーム」を小中合同のチームで行い、楽しく活動しました。

中学3年生の修学旅行発表会では、小・中学生が6つのグループに分かれて一緒に学習しました。江陽中では、キャリア教育を総合的な学習の時間の柱としており、今回の修学旅行でもディズニーランドでのキャストへの質問やふれあう活動を通して、自分の夢や目標について考える学習をしていました。中学生がタブレットにまとめた内容や発表が素晴らしく、小学生の手本となるものでした。また、感想を発表した6年生の子どもたちも立派でした。

3日目は、江別太小と豊幌小が同じ教室で過ごしました。中学校の校長先生から「今回の中学校登校を通して、小学校と違うところを見つけたり、他校の友達と話してみたりしてください」とのお話があり、休み時間に廊下の掲示物を見たり、他校の友達と会話をしたりする子どもたちの姿が見られました。

今回の中学校登校で合同学習を行った中学3年生と小学6年生は、昨年度の新体カテストの際と一緒に活動しており、その時のつながりも感じながら学習をしていたように思います。また、6年生の子どもたちや小学校の先生が修学旅行発表会に参加することで、9



中学校の先生による朝の会



中学校の校長先生のお話



数学科の授業体験 小学校の先生も教えてくれました



修学旅行発表会の中3生徒と小6児童の発表



江別太小と豊幌小が合同学習



特別支援学級の合同学習

年間で目指す中学3年生の姿を実感することができていました。さらに、特別支援学級の合同学習や江別太小と豊幌小の合同学習は、小学生と中学生、小学生同士の交流を自然な形で作り出していました。

【6年生の子どもたちの声】

- 小学校とは違って10分休みで3分前に着席し、予習するのが勉強になりました。
- 幼稚園の頃の友達と話せてよかったです。 ○豊幌小の子と話することができました。
- 部活のことなど様々なプリントを提示していて分かりやすかったです。
- 50分授業だったけど、あっという間でした。
- 数学や中学3年生の話がよかったです。
- 総合は、中学3年生がわかりやすくスムーズに教えてくれてすごかったです。
- 先生も優しく、中学生も楽しめるようにしてくれて嬉しかったし、楽しかったです。

楽しいな、懐かしいな！小学校の先生が中学生を指導

～美術科・音楽科・数学科の乗り入れ授業～

中学校登校に合わせて、小学校の先生の中学校への乗り入れ授業が行われました。今回は、江別太小の6年生の担任の先生が美術科、音楽科、数学科で中学1年生を指導しました。美術科は「ストップモーションアニメ」の創作活動でした。小学校低学年の時に使ったクレヨンやタブレットを活用して子どもたちの意欲を高め、グループでの活動も取り入れて、自然と対話が生まれるように工夫していました。音楽科は「声の表現を楽しもう」という課題の学習でした。ヨーデルやテノール、ゴスペル等、世界中の様々な歌唱のユーチューブを鑑賞することで、歌唱への興味・関心が高まるように工夫された授業でした。数学科は、日本ハムファイターズの新球場を取り上げ、建設費600億円が何年で元が取れるかを考えていく学習でした。授業の終末にクイズ形式の問題も出題する等して、子どもたちの問題解決への意欲を引き出していました。

中学1年生の子どもたちは、中学校で頑張っている様子を小学校の先生に見てもらうとともに、小学校のことを思い出し、楽しく学習に取り組むことができました。



小学校6年生の担任の先生による中学1年生への乗り入れ授業～（左から）美術科・音楽科・数学科～

中学校区の「保健便り」を掲示！

～共感を増やし、中学校区をつなぐ取組～

江陽中の正面玄関の掲示板には、中学校区内3校の保健便りが掲示されています。江陽中学校区の課題部会「養護教諭部会」が3校をつなぐ取組として行っているものです。

子どもたちや先生方、来校した保護者、地域の方々が3校の保健便りを一度に読むことができ、各校の保健指導や保健室経営の様子について知ることができます。小中一貫教育への「共感」を増やしていくための有効な取組です。



3校の保健便りの掲示